

第 28 回進化計算学会研究会プログラム

9 月 1 日(月)

13:00~13:10 開会式

13:10~14:30 **ポスターセッション 1 (フラッシュトーク 2 分/件)** 司会: 小野景子 (同志社大学)

- ◎P1-1 変数間依存性を考慮した実世界の段ボール生産計画のための多目的進化計算
○皆川 伊織 (電気通信大学), 宮下 啓之, 藤尾 孝, 飯田 勉 (東芝デジタルエンジニアリング株式会社), 佐藤 寛之 (電気通信大学)
- ◎P1-2 制約付き多目的最適化のためのプッシュ・プル探索における網羅性アーカイブを用いた指向性交配の効果
○高宮 諒翔, 宮川 みなみ (電気通信大学), 高玉 圭樹 (東京大学), 佐藤 寛之 (電気通信大学)
- ◎P1-3 解空間の局所変動性を考慮した IMODE
○西尾樹人 (東京都市大学), 穴田一 (東京都市大学)
- ◎P1-4 進化計算に基づく Saliency Map を用いた複合的敵対的 3 次元点群攻撃手法の検討
○高橋輝 (新潟大学大学院自然科学研究科), 張潮 (富山大学工学系部門), 余俊 (新潟大学自然科学系)
- ◎P1-5 初期解に類似製品データを活用した MOEA/D の多様性向上に関する検討
○安藤正一郎 (法政大学), 佐藤裕二 (法政大学)
- ◎P1-6 パレート最適フロントを用いた DARP における目的関数間の関係性に関する考察
○安部滉人, Claus Aranha (筑波大学)
- ◎P1-7 Adaptive Stochastic Natural Gradient のための重み適応機構の検討
○山田裕太郎, 内田絢斗, 白川真一 (横浜国立大学)

14:40~16:00 **ポスターセッション 2 (フラッシュトーク 2 分/件)** 司会: 半田久志 (近畿大学)

- ◎P2-1 進化型多目的最適化における探索停止戦略のベンチマーキング
○北村憲志, 田邊遼司 (横浜国立大学)
- ◎P2-2 人間ベース進化計算における多目的性の調査
○山田優人, 大西圭 (九州工業大学)
- ◎P2-3 対称変量法と二点ステップサイズ適応による多峰性問題における CMA-ES の性能向上
○中谷 海斗, 野村 将寛, 小野 功 (東京科学大学)
- ◎P2-4 多目的 Neural Architecture Search における構造パラメータ推移にスカラー化関数が与える影響の調査と交叉戦略の検討
○山口陽太郎, 谷垣勇輝 (大阪工業大学)
- ◎P2-5 風車モデル推定のための物理的単位を考慮した遺伝的プログラミング
○白神叶衣, 小野謙二 (九州大学)
- *P2-6 2 目的最適化における IGD, $IGD^* + \$$, R2, NR2 を用いた指標に基づく部分集合選択問題に対する動的計画法
○興呂木啓祐, 田邊遼司 (横浜国立大学)

16:10~16:50 **口頭セッション 1** 司会: 田邊遼司 (横浜国立大学)

- 01-1 資産の収益率の予測分布に基づく分散投資問題の進化的転移最適化
○田川聖治 (近畿大学)
コメンテーター: 畠中利治 (福知山公立大学), 大谷紀子 (東京都市大学)

17:00~18:00 **進化計算コンペティション説明会** 司会: 谷垣勇輝 (大阪工業大学)

18:30~ 懇親会「やきとり たづや 千林大宮店」にて

◎表彰対象 (学生による発表、かつ原稿あり)

*原稿なし発表

9月2日(火)

9:30~10:50 ポスターセッション3 (フラッシュトーク2分/件) 司会: 金崎雅博 (東京都立大学)

- ◎P3-1 選好に基づく進化型多目的最適化におけるサブ集団を用いた端点の近似
○最上龍一, 田邊遼司 (横浜国立大学)
- ◎P3-2 部分観測を考慮した非線形状態空間モデルの逐次状態推定のための PF/NES の提案
○牧野 碧, 野村 将寛, 小野 功 (東京科学大学)
- ◎P3-3 多目的離散ブラックボックス関数最適化のための MO-VAE-EDA の性能向上に関する研究
○小室 祥汰, 小野 功 (東京科学大学)
- ◎P3-4 設計変数の変更コストが異なる問題に対する階層的 CMA-ES の提案
○渡邊陽平, 内田絢斗, 白川真一 (横浜国立大学)
- P3-5 クエリベース敵対的攻撃に対する汎用防御摂動の進化的設計の試み
横手 優一郎, 堀之内 響, 森本 文哉, ○小野 智司 (鹿児島大学)
- *P3-6 パス指標を軸とした MAP-Elites による多様な決定木の最適化
○御手洗拓弥 (東京都市大学大学院), 大谷紀子 (東京都市大学)
- ◎P3-7 制約付き多目的最適化問題における解集合からの多目的知識獲得とクラスタリング手法によるデータ削減効果
○小野錬司, 増山直輝, 能島裕介 (大阪公立大学)

11:00~11:10 閉会式

11:10~11:40 進化計算学会臨時総会

◎表彰対象 (学生による発表、かつ原稿あり)

*原稿なし発表